



公立大学法人富山県立大学
News Release

富山県立大学

【本発表に関すること】

担当：情報研究係 垣内 電話：0766-56-7500（内線）229

【研究内容に関すること】

担当：電子・情報工学科 教授 唐山英明

電話：0766-56-7500（内線）480

携帯電話：090-8794-0272

平成29年11月15日



富山県内高校生への脳波計測技術の指導教育

文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（※1）」について、本学から申請した事業（『工学心』で地域とつながる『地域協働型大学』の構築（※2））が採択され、地域との対話・協働・交流による教育・研究・社会貢献の取組を進めているところです。

その一環として、学生が県内の高校（富山県立富山中部高等学校）の研究をサポートすることとなりましたのでご案内します。

- 日時 11月18日（土） 13時から16時30分
11月25日（土） 8時から16時30分
※両日ともに、開始時間から実験準備を行った後に実験を行います。
- 場所 富山県立富山中部高等学校 物理実験室（別紙）
住所：富山市芝園町3丁目1-26
- 参加学生 富山県立大学 唐山・木下研究室 数名
- 指導教員 電子・情報工学科 唐山 英明 教授、木下 史也 助教
- 内容 富山県立富山中部高等学校では、授業の一環として、自主的な研究活動を取り入れた高度な教育を行っています。その中でも、生徒の探究心を養う探求科学を推進しており、科学に対する興味を持たせつつ、様々な問題解決に取り組ませる活動を行っています。このたび、本学唐山・木下研究室の学生が、中部高校の生徒に対して生体情報計測技術（脳波計測技術）を指導教育し、生体情報データの収集の支援を行うこととなりました。高校生は、自ら作製した音をヒトに聞かせた際の脳の反応を調べ、快・不快の感じ方について客観的な事実に基づく研究分析を行ないます。脳波計測は極めて高度な技術を必要とすることから、大学の技術を県内高校生に体験してもらう良い機会となります。

※1 文部科学省「地（知）の拠点整備事業」について

「地（知）の拠点整備事業」（大学 COC 事業）」は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的として、平成 25 年度新たに創設されたものです。

25 年度は、全国の各大学等から 319 件の申請があり、52 件が採択されました。

※2 『「工学心」で地域とつながる「地域協働型大学」の構築』について

「富山県の発展を目指した県民の大学」という建学理念のもと、地域の課題に対して全学を挙げて取り組み、地域に役立つ技術者マインド「工学心」を持ち、地域課題を解決できる学生の育成を図るなど、「地域協働型大学」の構築を目指すものです。具体的には、例えば、少人数で行うゼミ形式の授業の中で、学生が多様な地域関係者と直接対話や交流などを行い、地域産業の振興や超高齢化社会への対応など解決が困難な課題について、地域関係者と一緒に考えます。

学生自らがその課題をとらえ、また、その課題の解決のためどう取り組みばよいかを学修することを通じて、主体的に課題解決する能力を持った人材の育成を目指しています。



富山県立大学

平成25年度「地(知)の拠点整備事業」

「工学心」で地域とつながる「地域協働型大学」の構築

地域に役立つ技術者マインド 「工学心」で地域とつながる全学的取り組み



「工学心」

人々の暮らしに役立つ「工学」、新しい高度な技術の創造への熱意

「地域とつながる」

- ・学生が積極的に地域と交流・対話・協働することにより、地域課題を肌で感じ、主体的に課題解決する能力の育成
- ・教員による地域志向の教育及び世界を目指す研究による地域との協働

「工学心」

大学
(学生・教職員)



地域
(自治体・地域団体
住民・企業)

「地域協働型大学」

- ・教育・研究・社会貢献の分野で全学的に地域課題に取り組む
- ・「工学心」を持ち、地域課題の解決に取り組む学生を育成

(別紙) 富山中部高校 会場図

